

沖縄県内の文化芸術活動の 新たなチャレンジで 持続可能な取り組みを 公募します。

令和5(2023)年度・補助事業

沖縄文化芸術の創造発信支援事業

受付期間 4月18日(火)～4月21日(金)

※応募締切:令和5(2023)年4月21日(金)必着
(持参の場合は17:00まで)

相談期間 3月16日(木)～4月17日(月)
[受付時間]平日10:00～16:00 ※要予約

補助金額

- 団体(補助率1年目=90%、2年目=80%)

上限 500万円 新事業のチャレンジに!

- スタートアップ(補助率1年目=90%、2年目=80%)

上限 100万円 設立5年未満の団体が対象

- 個人事業主(補助率1年目=90%)

上限 100万円 フリーランスも応募可能

※既存の自社事業の延長となるものや、新規性がみられないものは対象になりません。まずはご相談下さい。 ※補助事業は、審査委員会による毎年度の審査・採択を受けることで、最長3回の補助を受けることができます。初年度での採択は次年度以降の採択を確約するものではありません。 ※本事業は、国及び県の令和5年度における本予算成立および本事業に係る沖縄振興特別推進交付金の交付決定を前提とするものであり、現時点では全て予定となっております。本交付金の交付決定がなされなかった場合等は実施をしないことがありますので、必ずお問合せください。

公募の問い合わせ・応募方法(応募先)

- 問い合わせ・応募先

応募は期間中に下記まで郵送(配達記録ができるもの)又は持参。

公益財団法人沖縄県文化振興会(沖縄アーツカウンシル)
「沖縄文化芸術の創造発信支援事業」担当者 宛

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター 6階 605

公募する事業区分

- 本事業では、下記の区分の取り組みを公募します。

※外部有識者による審査の上、沖縄県により交付を決定します。
※下記に示した取組み例は、あくまでも例示です。
区分1～3の選定にあたっては、応募する事業の目的、
ご自身の活動に即した内容でご応募ください。

1 文化芸術団体等の組織力向上 基盤強化に資する取組み

- 文化芸術活動の継続や強化に向けて、事務局体制の向上や基盤強化を図る取組み
- 文化芸術活動を支える担い手等の育成・継承に関する取組み
- 個人事業主による文化芸術活動の継続や強化に向けた自己研鑽に係る取組み
- オンライン配信や映像制作のスキルアップのための取組み など

2 文化芸術を次代に引き継ぐ 新たな創造発信を伴う取組み

- 認知度の向上やリピーター獲得に向けた体系的な計画を有する文化芸術事業
- 創作人材の育成に係る魅力ある創造発信を伴う取組み
- アーティストの交流等を促進する取組み
- 一過性のイベントではなく、新規性のみられるライブや上映会、公演、展覧会 など

3 文化芸術を通じて地域の諸課題解決や 活性化の促進等に寄与する取組み

- 県内の民間事業所(観光、まちづくり、産業等関連分野)や教育機関(各種学校、図書館、博物館、公民館等)等と連携して行う取組み
- 共生社会実現に向けて関係機関(福祉、国際交流等関連分野)と連携して行う取組み など

補助対象期間

団体・スタートアップ

交付決定日から
令和6年2月29日(木)までに
完了する取組み

個人事業主

交付決定日から
令和5年12月31日(日)までに
完了する取組み

補助対象経費

- ①人件費 ②事業費★1

★1:(賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料)

※ただし、補助対象経費に係る消費税及び代表者(個人事業主の場合は申請者ご本人)の人件費・報償費等は対象外です。※概算払い(5割まで)が可能です。

- 応募書類について

沖縄アーツカウンシルのウェブサイトにて公募要領をよくご確認いただき、応募書類をダウンロードの上、作成してください(手書き不可)。

<https://okicul-pr.jp/oac/grants/>



お電話でのお問い合わせ TEL 098-987-0926(平日9:00～16:00) / FAX 098-987-0928

沖縄の 文化・芸術を つくる つなげる。

令和5(2023)年度・補助事業

沖縄文化芸術の創造発信支援事業

沖縄県内の文化芸術活動の新たなチャレンジで
持続可能な取り組みを公募します。

伝統文化 組踊、琉球芸能、伝統行事、食文化 etc.

芸術 文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術(映画、漫画、アニメーション) etc.

芸能 民俗芸能 etc. 生活文化 海人文化 etc.

文化財等 有形及び無形の文化財、歴史的価値がある文書及び記録 etc.

様々な沖縄の文化・芸術の取り組みが採択されています。まずはご相談下さい。

OKINAWA ARTS COUNCIL

沖縄文化芸術の 創造発信支援事業とは

文化芸術に関わる県内の団体等が行う各種の取り組みを補助することにより、本県の多様で豊かな地域の伝統芸能や文化芸術といった文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を図ることを目的としています。

令和4(2022)年度・採択事業例

● 団体

公益財団法人沖縄県女師・一高女ひめゆり平和祈念財団立
ひめゆり平和祈念資料館付属ひめゆり平和研究所

“ひめゆり”を伝えるワークショップ 開発・実践 プロジェクト

沖縄戦とひめゆり学徒の歴史を広く伝えるため、映像やデザインのクリエイターや類似施設と協働し、展示と学び手をつなげるワークショップを開発。移動展「ひめゆりとハワイ」を開催するとともに、資料館からは遠い地域の学生たちを対象にワークショップを実践し、新しい形の発信型教育プログラムの構築を提案した。

詳しい事業の内容や
現在の活動状況はコチラ



歴史文化

教育

促進



クラシック音楽

しまくとぅば

発信

● 団体

クラシックでしまくとぅば実行委員会

「クラシックでしまくとぅば」 連続ワークショップ事業

「沖縄独自のクラシック音楽の語り口があるのではないか」という問いを起点に、沖縄のクラシック音楽家らとともに、琉球芸能やウィーン流派の「語り（ことばの響きやイントネーション）」に着目した連続ワークショップを実施。沖縄ならではのクラシック音楽の表現を探求し、地域独自の音楽活動の展開をめざした。



詳しい事業の内容や
現在の活動状況はコチラ

● スタートアップ

古典企画

琉球芸能実演家による 共同のオンラインを使った 魅力発信と稽古の提供

琉球芸能の実演家4名（舞踊・三線・箏・笛）が共同し、従来の対面稽古に加え、オンラインによる稽古も行い、後継者の育成を図った。また、琉球芸能の様々な魅力を発信し、愛好者の獲得も試みた。中堅・若手が直面している諸課題や環境の改善を模索し、実演家が未来を生き抜くための、一つのモデルケースとなることを目的とした。

詳しい事業の内容や
現在の活動状況はコチラ



琉球芸能

オンライン

基盤強化

● スタートアップ

くらしの中の海洋文化実行委員会

くらしの中の海洋文化

日々の暮らしの中に根付く海と人間の関わりを指す海洋文化。沖縄の象徴である伝統船サバニの造船技術、操船技術を軸に、無形の文化財を継承していくことを目的とし、年齢性別にとらわれず、サバニに関わることができる環境・コミュニティの形成をめざした。



詳しい事業の内容や
現在の活動状況はコチラ



海洋文化

無形文化財

コミュニティ形成

● 個人

比嘉 誠

那覇市首里末吉町の 獅子舞ドキュメント映画撮影

首里末吉町に伝わる「獅子舞」の演舞（型）と、それにまつわる行事を多角的に撮影した。継承に携わる現役の保存会メンバーやOB、自治会の想いもドキュメントとして撮影し、末吉町公民館にて関係者を集めての上映会を行った。

詳しい事業の内容や
現在の活動状況はコチラ



獅子舞

アーカイブ

継承